会報

第126号

公益社団法人
日本海海難防止協会

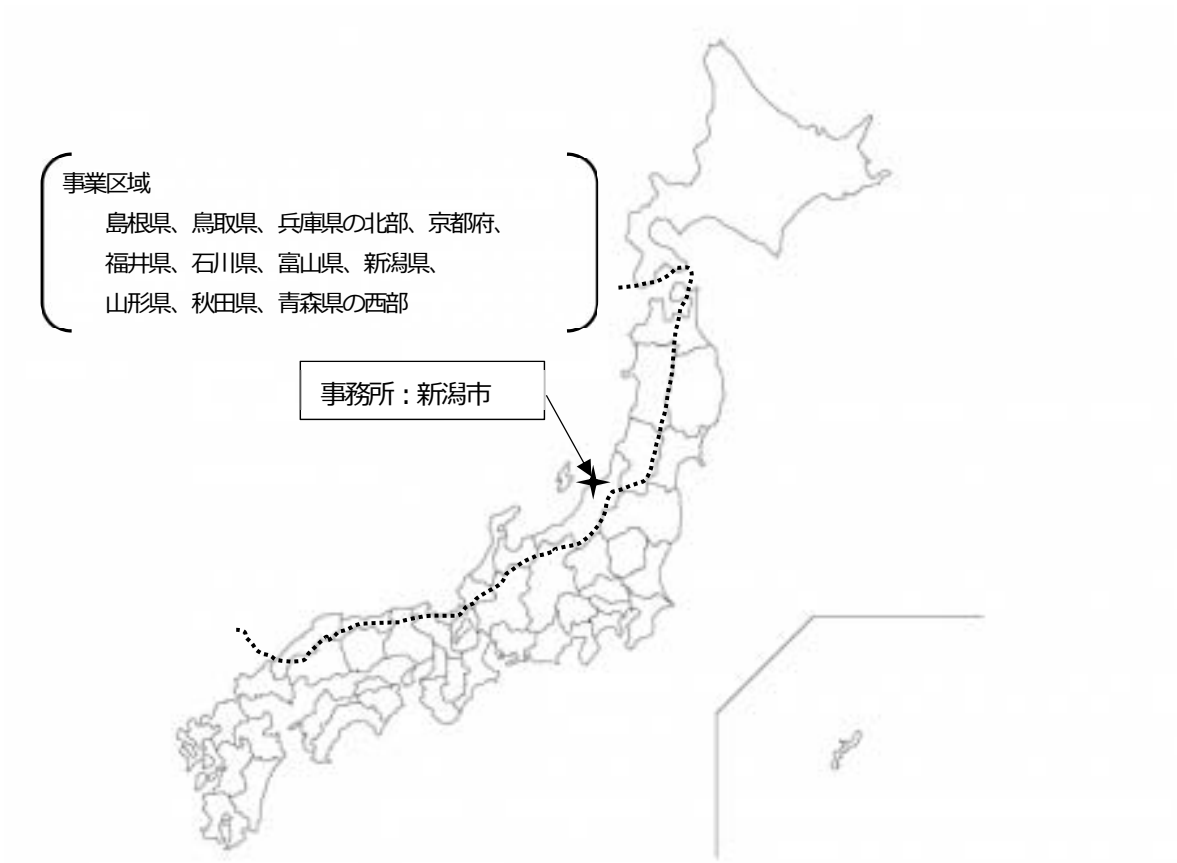
日本海海難防止協会は、本州日本海沿岸(山口県を除く)及び付近水域における、海上交通の安全に寄与するため、次の事業を行っております。

(1) 船舶の航行安全及び海難防止に関する事項の調査研究

(2) 船舶の航行安全に関する教育指導及び情報の提供

(3) 海難防止に関する事項の周知宣伝

(4) その他本協会の目的を達成するために必要な事業



【公益社団法人　日本海海難防止協会が行う事業区域図】

アクセス

○新潟駅(JR 信越線)から

徒歩　約 25 分、ﾀｸｼｰ利用　約 10 分、

ﾊﾞｽ利用　新潟交通　北ふ頭　約 20 分

北ふ頭　停留所下車徒歩約 5 分

○新潟空港から

ﾀｸｼｰ利用　約 20 分、ﾊﾞｽ利用　北ふ頭　約 20 分

○車

国道 113 号線竜が島郵便局前交差点を左折直進、

信号を一つ通過後右折し約 50m

目　　次

Ⅰ　事 業 報 告

Ⅰ－１　調査研究 1

１　鳥取港(西浜航路)大型貨物船入出港に係る航行安全調査..... 1

1-1　第２回委員会 1

２　18 万m^3級ﾓｽ連続ﾀﾝｸｶﾊﾞｰ型 LNG 運搬船の新潟 LNG ﾊﾞｰｽ着離桟の安全性調査..... 2

2-1　ビジュアル操船実験 2

2-2　作業部会 2

2-3　第２回委員会 2

３　日本海北部海域における簡易型 AIS 普及に関する調査研究(秋田県・山形県地区) .. 3

3-1　第２回委員会 3

４　秋田港・能代港洋上風力発電事業に係る航行安全対策..... 4

4-1　第３回委員会 5

Ⅱ　会 務 報 告

Ⅱ－１　平成 30 年度第２回理事会..... 6

Ⅱ－２　平成 31 年度事業推進連絡会議..... 8

Ⅱ－３　業務日誌抄..... 9

Ⅱ－４　業務予定..... 10

Ⅲ　海保安全情報

台風襲来に備え、走錨に注意！..... 11

海難防止活動の重点事項と重点期間..... 13

Ⅳ　寄 稿 欄

意宇六社巡り　－その２－..... 16

Ⅴ　連 絡 事 項

☆　会員名簿の変更..... 22

Ⅰ　事 業 報 告

Ⅰ－１　調査研究

１　鳥取港（西浜航路）大型貨物船入出港に係る航行安全調査

委員会の構成

（順不同・敬称略）

「委　員」

（委員長）　寺本　定美　　海上保安大学校　名誉教授

奥田　邦晴　　国立研究開発法人水産研究・教育機構水産大学校　名誉教授

松田　洋和　　一般社団法人日本船長協会　副会長

森脇啓治郎　　境水先区水先人会　会長

眞木　　崇　　境港海陸運送株式会社海運事業部　船舶代理店課長

長野　達夫　　日本興運株式会社鳥取支店　支店長

「関係官公庁」

第八管区海上保安本部　交通部

境海上保安部

鳥取海上保安署

中国地方整備局　境港湾・空港整備事務所

鳥取地方気象台

1-1　　第２回委員会

(1)　開 催 日：平成 31 年１月 16 日（水）

(2)　場　　所：鳥取市　ホテルモナーク鳥取

(3)　議　　題：

①　操船の安全性について

②　航行安全対策について

③　報告書構成案について

２　18 万m^{3}級モス連続タンクカバー型ＬＮＧ運搬船の新潟ＬＮＧバース着離桟の安全性調査

委員会の構成

（順不同・敬称略）

「委　員」

（委員長）　矢吹　英雄　　東京海洋大学　名誉教授

髙橋　　勝　　海上保安大学校　名誉教授

中川　　悟　　一般社団法人日本船長協会　参与

小坂　徳夫　　新潟水先区水先人会　会長

池藤　　公　　新潟港船舶代理店会　理事

伊藤　則彦　　日本海曳船株式会社　常務取締役

「関係官公庁」

第九管区海上保安本部　交通部

新潟海上保安部

北陸地方整備局　新潟港湾・空港整備事務所

新潟県新潟地域振興局　新潟港湾事務所

2-1　　ビジュアル操船実験

(1)　実 施 日：平成 31 年１月 10 日(木)～11 日(金)

(2)　場　　所：川崎市（株式会社日本海洋科学　シミュレーションセンター）

2-2　　作業部会

(1)　開 催 日：平成 31 年２月 18 日(月)

(2)　場　　所：新潟市　ＡＮＡクラウンプラザホテル新潟

(3)　議　　題：

①　ビジュアル操船実験による検討（操船実験結果）について

②　航行安全対策案について

2-3　　第２回委員会

(1)　開 催 日：平成 31 年２月 25 日(月)

(2)　場　　所：新潟市　ＡＮＡクラウンプラザホテル新潟

(3)　議　　題：

①　操船の安全性について

②　航行安全対策について

③　報告書構成案について

３　日本海北部海域における簡易型ＡＩＳ普及に関する調査研究（秋田県・山形県地区）

委員会の構成

（順不同・敬称略）

「委　員」

（委員長）　日當　博喜　　海上保安大学校　名誉教授

須藤　秀直　　日本小型船舶検査機構　仙台支部長

石山　俊次　　日本小型船舶検査機構　青森支部長

高橋　福治　　秋田船川水先区水先人会　会長

松浦　安洋　　酒田水先区水先人会　会長

加賀谷　弘　　秋田県漁業協同組合　代表理事組合長

本間　昭志　　山形県漁業協同組合　代表理事組合長

齋藤　修市　　秋田県小型船舶安全協会　会長

齋藤　賢作　　特定非営利活動法人　山形県小型船舶安全協会　会長

山田　則隆　　株式会社マリーナ秋田　代表取締役専務

冨塚　郁夫　　鼠ヶ関マリーナ　ハーバーマスター

高桑　幸蔵　　ビーエルエス東北　代表

「関係官公庁」

第二管区海上保安本部　交通部

秋田海上保安部

酒田海上保安部

東北総合通信局　無線通信部

東北運輸局　秋田運輸支局

東北運輸局　山形運輸支局

水産庁　新潟漁業調整事務所

秋田地方気象台

山形地方気象台

秋田県　農林水産部水産漁港課

山形県　庄内総合支庁産業経済部水産振興課

3-1　　第２回委員会

(1)　開 催 日：平成 31 年２月 28 日（木）

(2)　場　　所：秋田市　ホテルメトロポリタン秋田

(3)　議　　題：

①　簡易型ＡＩＳ利用に関する実態について

②　簡易型ＡＩＳ普及に係る取組みについて

③　簡易型ＡＩＳ普及に係る対策について

④　調査・研究の成果について

４　秋田港・能代港洋上風力発電事業に係る航行安全対策

委員会の構成

（順不同・敬称略）

「委　員」

（委員長）　矢吹　英雄　　東京海洋大学　名誉教授

髙橋　　勝　　海上保安大学校　名誉教授

松田　洋和　　一般社団法人日本船長協会　副会長

髙橋　福治　　秋田船川水先区水先人会　会長

西宮　公平　　秋田海陸運送株式会社　代表取締役社長

柏屋　　敬　　日本通運株式会社秋田港支店　支店長

與後　奨太　　能代運輸株式会社　専務取締役

大森　　弘　　株式会社ダイニチ　専務取締役

大槻健太郎　　東北電力株式会社秋田火力発電所　所長

橋本　英雄　　東北電力株式会社能代火力発電所　所長

加賀谷　弘　　秋田県漁業協同組合　代表理事組合長

工藤　　篤　　秋田県漁業協同組合　北部総括支所　支所長

相原　文夫　　秋田県漁業協同組合　秋田支所　秋田地区運営委員長

石井　好勝　　八峰町峰浜漁業協同組合　代表理事組合長

大髙　光晴　　能代市浅内漁業協同組合　代表理事組合長

田中　保則　　三種町八竜漁業協同組合　代表理事組合長

山田　則隆　　株式会社マリーナ秋田　代表取締役専務

齋藤　修市　　秋田県小型船舶安全協会　会長

佐藤　雅史　　秋田北部マリンヤマハクラブ　会長

佐々木　一　　能代シーマンズクラブ　会長

加藤榮之進　　白神マリンクラブ　代表

「委員関係者」

新日本海フェリー株式会社　秋田支店

「関係官公庁」

第二管区海上保安本部　交通部

秋田海上保安部

東北地方整備局　秋田港湾事務所

秋田地方気象台

秋田県産業労働部　資源エネルギー産業課

秋田県建設部　港湾空港課

秋田県農林水産部　水産漁港課

秋田市産業振興部

能代市環境産業部

4-1　第３回委員会

(1)　開 催 日：平成31年２月27日（水）

(2)　場　　所：秋田市　ホテルメトロポリタン秋田

(3)　議　　題：

①　第２回委員会の質疑への対応について

②　施工計画の航行安全について

③　航行安全対策について

④　報告書構成案について

Ⅱ　会 務 報 告

Ⅱ－１　平成 30 年度第２回理事会

１　開 催 日　　平成 31 年３月５日(火)

２　場　　所　　ＡＮＡクラウンプラザホテル新潟

新潟市中央区万代５丁目 11 番 20 号

３　理事の現在数、出席者数

(1)　理事の現在数　　23 名

(2)　出席者数

出席理事　　15 名

監　　事　　2 名

４　議事次第

議　事

決議事項

第１号議案　平成 31 年度の事業計画書について

第２号議案　平成 31 年度収支予算書等について

第３号議案　総会の日時、場所及び目的である事項の決定について

報告事項

業務を執行する理事の職務の執行の状況について

５　議事の経過及びその結果

(1)　定足数の確認

事務局から定款第 38 条に定める定足数を満たしている旨の報告がなされた。

(2)　議長及び議事録の署名

定款第 37 条の規定に基づき南波会長（代表理事）が議長となり、議事録の署名は定款第 42 条の規定に基づき、南波代表理事、小畑監事、水野監事とした。

(3)　議案の審議状況及び議決結果等

第１号議案及び第２号議案

議長の求めに応じ、事務局から平成 31 年度事業計画書及び平成 31 年度収支予算書等の説明が行われた。

議長が第１号議案及び第２号議案の承認を諮り、審議の結果出席理事全員異議なく平成 31 年度事業計画書及び平成 31 年度収支予算書等を原案のとおり総会に報告することを決した。

第３号議案

議長は、総会の日時、場所及び目的である事項は理事会の決定事項である旨の説明をして決議を諮り、審議の結果出席理事全員異議なく原案のとおり決した。

なお、総会に出席できない正会員については、書面による議決権の行使、または代理人による議決権の行使が了承された。

報告事項

業務を執行する理事の職務の執行の状況について安藤専務理事及び事務局から報告がなされた。

Ⅱ－２　平成 31 年度事業推進連絡会議

１　開 催 日　　平成 31 年４月 24 日(水)

２　場　　所　　ＡＮＡクラウンプラザホテル新潟

３　出 席 者　　下表のとおり

４　議　　事

(1)　航行安全及び海難防止に関する調査研究について

(2)　海難防止に関する周知宣伝について

(3)　航行安全に関する情報交換について

(4)　その他

出　　席　　者　　名　　簿

(順不同・敬称略)

構成機関・団体	役　職　等	氏　名
第二管区海上保安本部交通部	航行安全課長	大久保　慎
〃	安全対策課　安全対策調整官	笠原　　司
第八管区海上保安本部交通部	航行安全課長	梅原　　昇
〃	安全対策課　安全対策調整官	増田　直之
第九管区海上保安本部交通部	航行安全課長	塩谷　禎章
〃	航行安全課　専門官	嶋田　大輔
〃	安全対策課長	青木　雄一
〃	安全対策課　安全対策調整官	中野谷　隆
第九管区海上保安本部海洋情報部	監理課長	向仲　英司
〃	監理課　専門官	松下　　優
(公財)海上保安協会新潟地方本部	事務局長	髙野　成二
新潟県水難救済会	事務局長	西片富士夫
(公社)日本海海難防止協会	専務理事	安藤　眞博
〃	総務部長	木原　弘昭
〃	事業部長	高野　　修
〃	事業部　主任調査員	花棚　景子
〃	事業部　調査員	村山　　香

Ⅱ－３　業務日誌抄

月　　日	内　　容
１月 10 日(木) ～11 日(金)	18 万m^3級モス連続タンクカバー型ＬＮＧ運搬船の 新潟ＬＮＧバース着離桟の安全性調査　　ビジュアル操船実験（川崎市）
１月 16 日(水)	鳥取港(西浜航路)大型貨物船入出港に係る航行安全調査 第２回委員会（鳥取市）
２月 18 日(月)	18 万m^3級モス連続タンクカバー型ＬＮＧ運搬船の 新潟ＬＮＧバース着離桟の安全性調査　　作業部会（新潟市）
２月 25 日(月)	18 万m^3級モス連続タンクカバー型ＬＮＧ運搬船の 新潟ＬＮＧバース着離桟の安全性調査　　第２回委員会（新潟市）
２月 27 日(水)	秋田港・能代港洋上風力発電事業に係る航行安全対策 第３回委員会（秋田市）
２月 28 日(木)	日本海北部海域における簡易型ＡＩＳ普及に関する調査研究 (秋田県・山形県地区)　第２回委員会（秋田市）
３月　５日(火)	平成 30 年度　第２回理事会　(新潟市)
４月 22 日(月)	平成 30 年度の事業報告及び決算の書類等の監査　(協会事務室)
４月 24 日(水)	平成 31 年度　事業推進連絡会議　(新潟市)

Ⅱ－４　業務予定

内　　容		予　定　月　日
(1)	令和元年度　第１回理事会	令和元年　5月　14日
(2)	酒田港港湾計画改訂に係る船舶航行安全対策調査　第１回委員会	令和元年　5月　16日
(3)	令和元年度　東北地方海難防止強調運動推進連絡会議	令和元年　5月　30日
(4)	令和元年度　通常総会及び第２回理事会	令和元年　6月　11日
(5)	令和元年度　日本海中部地方海難防止強調運動推進連絡会議	令和元年　6月　17日
(6)	令和元年度　海難防止強調運動日本海西部地方推進連絡会議	令和元年　6月　18日
(7)	日本海西部海域における簡易型ＡＩＳ普及に関する調査研究 （福井県・京都府・兵庫県地区）第１回委員会	令和元年　7月　10日
(8)	会報第127号発行	令和元年　9月　上旬

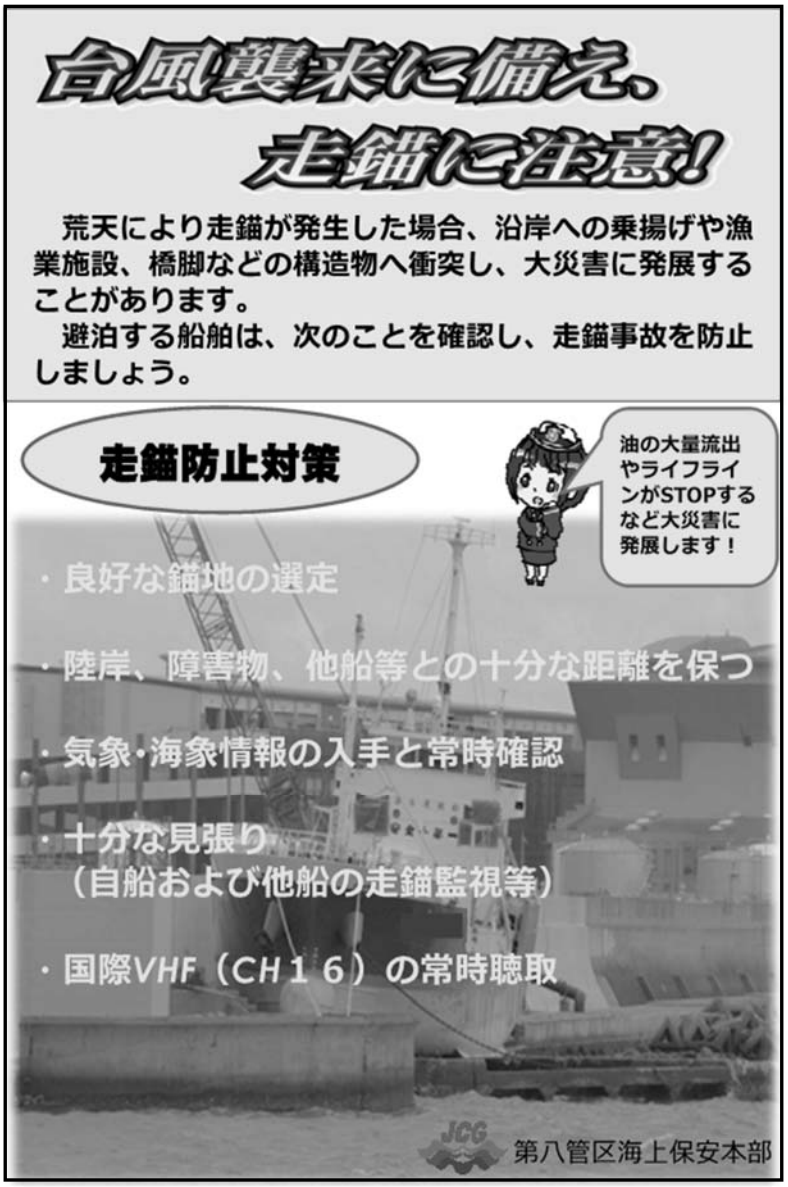
Ⅲ　海保安全情報

第八管区海上保安本部交通部　航行安全課

台風襲来に備え、走錨に注意！

平成30年9月、台風21号が大阪湾付近を通過した際、荒天を避けるために錨泊していたタンカーが走錨し、関西国際空港連絡橋に衝突したことにより、同空港へのアクセスが制限されるなど、人流・物流等に甚大な影響が発生しました。このような走錨に起因する海難は、平成20年から平成29年までの過去10年間に全国で101件発生しています（20トン未満の船舶を除く）。

これから台風が日本列島に接近または上陸しやすい時期を迎えること、近年は台風の勢力が大型化する傾向にあることから、第八管区海上保安本部では、走錨防止対策の徹底を呼び掛けています。



八管区における走錨に伴う海難事例

海難種別：乗揚

発生時刻：平成30年８月24日　午前１時20分頃

発生場所：京都府宮津市無双ヶ鼻沖合

事故船舶：インドネシア船籍セメント船（16名乗組）

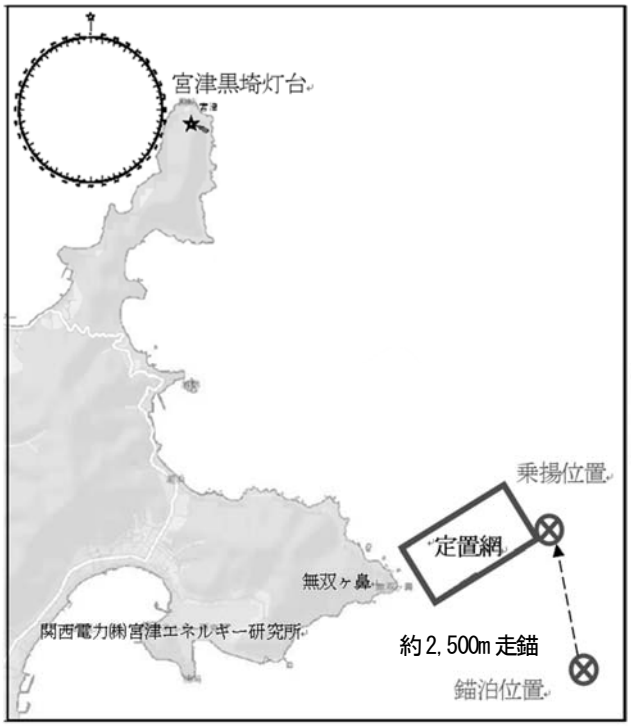
事故船舶の要目：総トン数 2,630 トン、全長 91 メートル、積荷なし（空船）

気象・海象

天候：雨、風向：東南東、風速：22m/s（最大瞬間風速32.1m/s：宮津地方地域気象観測所）

事故概要

事故船舶は、台風20号の接近に伴い、栗田湾で荒天避泊を行っていたところ、台風通過による南南東の風により、錨泊位置から約2,500メートル離れた定置網まで圧流されて操船不能となり、同定置網に乗揚げた。



走錨を知ったときの処置

ア　直ちに機関を使って圧流されるのを防ぐ。

イ　直ちに揚錨して安全な錨地に転びょうする。

ウ　事態が急迫した揚びょうが間に合わないときは、捨びょう（錨鎖を切断すること）をして緊急避難する。

第九管区海上保安本部交通部　安全対策課

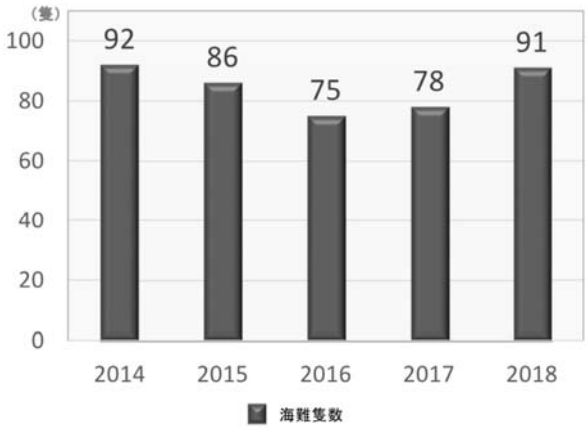
海難防止活動の重点事項と重点期間

新潟県及び富山県、石川県沿岸海域である、いわゆる日本海中部海域においては毎年８０隻前後の海難が発生しています。ひとたび海難が発生すると、尊い人命や財産が失われるとともに、経済活動や海洋環境に多大な影響を及ぼすこともあります。

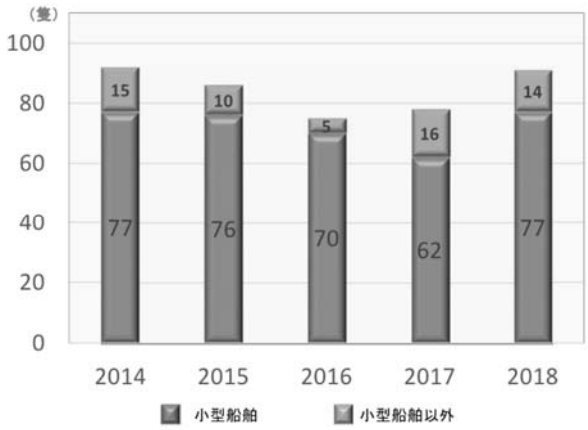
また、近年の社会情勢の変化や技術革新等に伴い、新たなマリンレジャーや海洋におけるエネルギー生産活動、大型クルーズ船の寄港等が活発化するとともに、自動運航船実用化に向けた取り組みが始められつつある等これまでにない船舶や、運航形態が出現するなど、海上活動が多様化、活発化しています。

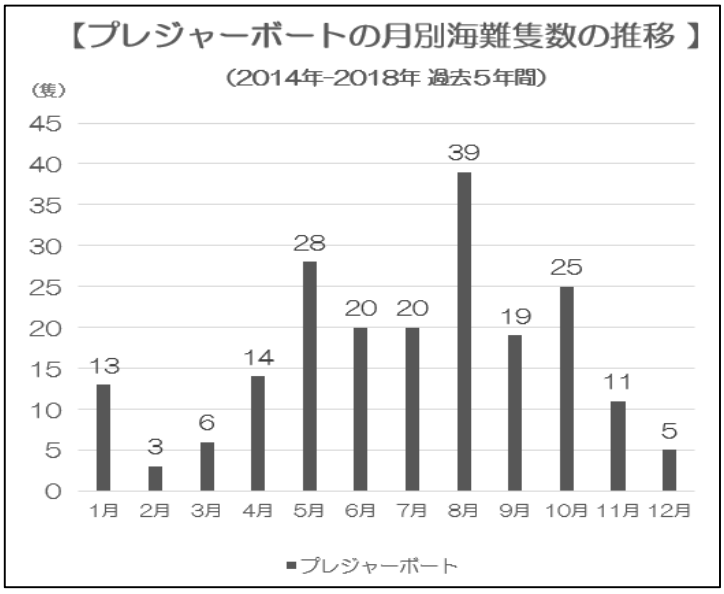
第九管区海上保安本部では、このような情勢を踏まえ、令和の新しい世代において、海難ゼロを目指し、一層の海上交通の安全・安心のため、特に海難発生状況等の地域特性を勘案のうえ、小型船舶に対する海難防止活動に重点的かつ強力に取り組んで参ります。

【海難発生隻数の推移】



【小型船舶の占める割合】

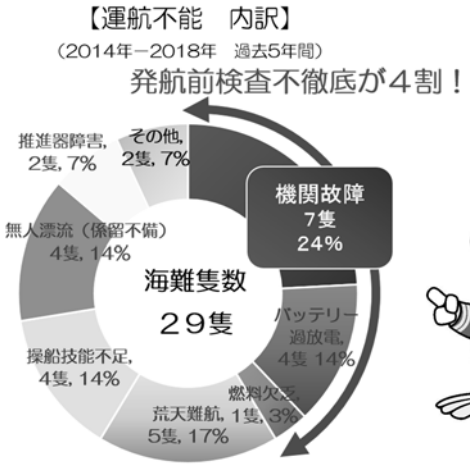




１　重点事項

第九管区海上保安本部管内では、船舶海難のうち約８割はプレジャーボート等の小型船によるもので、５月と８月に事故が増加する傾向にあります。事故原因の７割が運航不能によるものでそのうちの４割が発航前検査不徹底によるものです。

そこで、重点対象を①　プレジャーボート　②　ミニボート　③　小型漁船として以下を重点事項とし指導します。



①　ウォーターセーフティガイドの活用

≪海を安全に安心して楽しむための総合安全情報サイト≫

Water Safety Guide
海上保安庁

②　安全確保３か条の徹底

- 発航前、機関や燃料等の点検の実施
- 航行時、常時見張りの徹底
- 故障時に備え、救助支援者の確保

③　ＧＰＳ機能の活用による「自助」「共助」

④　発航前点検、定期的な整備、適切な係留

２　重点期間

（１）春季大型連休安全推進活動期間

平成３１年４月２７日（土）から５月６日（月）（１０日間）

（２）夏季安全推進活動期間

令和元年７月１６日（火）から８月３１日（土）（４５日間）

（３）秋季安全推進活動期間（全国漁船安全推進月間）

令和元年１０月１日（火）から１０月３１日（木）（１か月間）

（４）年末年始特別警戒及び安全指導期間

令和元年１２月１０日（火）から令和２年１月１０日（金）（１か月間）

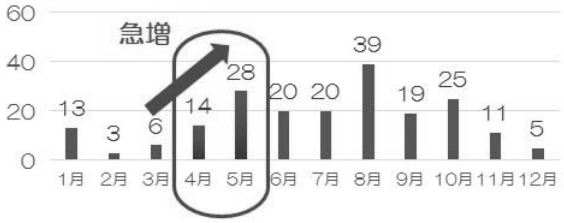
プレジャーボート海難ゼロへの願い

～安全にレジャーを楽しむために～　平成３１年4月［定期1号］

例年、プレジャーボート海難が急増！

4月、5月は注意！

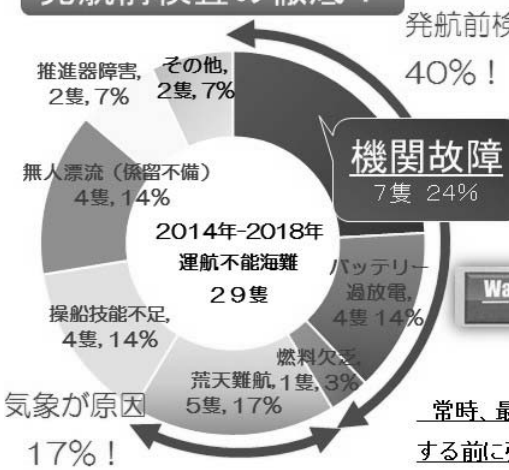
【プレジャーボートの月別海難隻数の推移】
（2014年-2018年 過去５年間）



シーズン始め、毎年事故が急増する時季です。

安全意識を高く、整備点検や気象の把握、マナーを守り無事故で楽しみましょう!

発航前検査の徹底！



発航前検査不徹底による海難が4割を占めています。

シーズン始め、しっかりエンジン、オイル、バッテリーの点検を行いましょう！

Water Safety Guide
海上保安庁
検索

最新の気象の把握！

常時、最新の気象を把握して、天候が悪化する前に引き上げましょう。

「釣果が上がらない」「せっかくの休みだから」といって無理をする事はとても危険です！

問合せ先（作成元）　第九管区海上保安本部交通部
電話　025－285－0118（代表）
協　力　新潟県交通政策局港湾整備課
電話　025－285－5511（代表）

平成31年プレジャーボート海難隻数累計（3月末現在）			
発生県	新潟	富山	石川
海難隻数	1	2	0

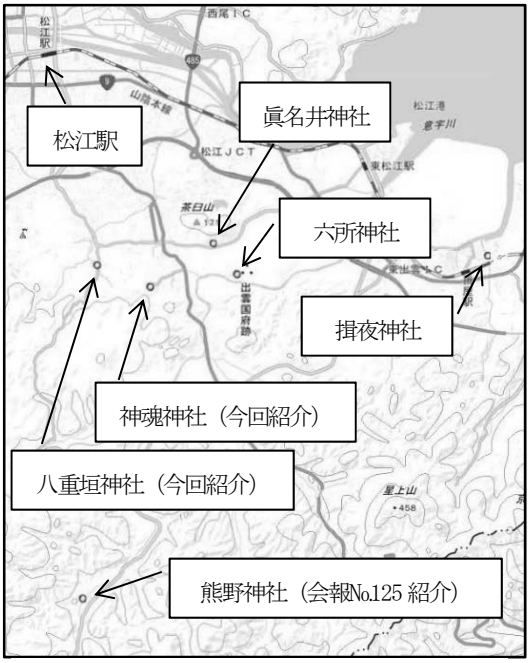
第九管区海上保安本部

Ⅳ　寄 稿 欄

意宇六社巡り　－その２－

元舞鶴事務所長　山本勝眞

前回に続き、昨年（平成30年）11月４日、５日の２日間松江を訪れた際に立ち寄った古代出雲国の意宇六社（おうろくしゃ）のうち、今回は神魂（かもす）神社と八重垣（やえがき）神社についてご紹介します。



本地図は「地理院地図(GSI Maps)」から編集。

改めてお話ししますが、「意宇」というのは昔の地名で、出雲国風土記（730年ごろ編纂か？）の国引き神話に、「八束水臣津野命（やつかみずおみつのみこと）（素戔嗚尊（すさのおのみこと）と比定する説もあるようです・・）が『今は国は引き終えた。』ともうされ、御杖を地に突き立てて『意恵（オウェ）！)』ともうされたこの地を『意宇』という。」というようなことが書いてあります。

松江市の東寄りに、現在も「意宇町」という町があり、意宇川が中海へと注いで「意宇」という地名などが残っています。

古代出雲国というのは、現在の松江市の南寄りを中心に、島根県の東部に栄えた強大な国家で、古事記・日本書紀の神話に多くの記述があることからも、古代日向国とともに、大和国以前２世紀ごろに栄えていたのではないかと考えられています。

神魂神社は、六つの神社、つまり「意宇六社」のうちの１つです。

神魂神社の鳥居

松江市大庭町というところに神社はあり、神社の下に駐車場があって、駐車場から道路を隔てて神社へ上る道の石段があります。神社へは急な石段を登っていく方法と、女坂（めざか）というやや平らな坂道を登るのと二つ

のアプローチがありますが、急な石段のほうもたいしたことはありませんでした。石段（または女坂）を登りきったところに、ひっそりとながらもこの神社は厳かに祀られています。

と申しますのは大変静かな場所にあり、また建物が大変質素で古びて見えるからそう感じるわけですが・・・。もっとも国宝であるため新たに手を加えることができないからかもしれませんね。

私が訪れたときにもほかに参拝者はなく、通常でも来られるひとはあまり多くないのではと感じました。

神魂神社本殿は、昭和23年の修理の際に、柱から正平元年（1346年）の墨書が見つかったことから、現存する最古の「大社造り」建造物であることが明らかになり、昭和27年３月に国宝に指定されました。現在の建物は、安土桃山時代の天正11年（1583年）の建造と考えられるとのことです。

ちなみに元号「正平」は、南北朝時代の南朝の元号で、北朝では「貞和２年」ということになります。

出雲大社と同様に、入口は正面に向かって右に片寄っていますが、神座は出雲大社とは反対に、殿内の中心に建つ心御柱（しんのみはしら）の左奥に横向きに置かれています。

特徴として、本殿屋根の千木の先端は水平に切った形の内そぎで、そして前後の中央の柱（宇豆柱（うずばしら）と言います）がそれぞれ前と後ろに出っ張っています。

本殿はまた、床が正方形田の字型で、他の五社に比べとても高い（高床）造りになっていました。

また出雲大社より大社造りの古制をよく保存しているとのことであります。

残念ながら内部を拝見することはできませんが、内壁面には彩色を施した壁画があるということでした。

神魂神社

創建は、天穂日命（あめのほひのみこと）が出雲に来られた時代ということですから、だとすれば２世紀後半の頃の話にということになります。この方は日向系の方で、現出雲大社の宮司千家の大元の祖先にあたられ、母神様は、大日霊女貴尊（おおひるめむちのみこと）（現天照大神（あまてらすおおかみ））です。

天穂日命は幼いころ、素戔嗚尊（すさのをのみこと）が大日霊女貴尊から託され、出雲に来られたという話があります。

現在神魂神社の主祭神は、天穂日命の祖父母、伊弉冉尊（いざなみのみこと）と伊弉諾尊（いざなぎのみこと）ということになっていますが、神社の千木が内そぎであることは、女神を祀った神社の特徴でもありますので、最初伊弉冉尊おひとりが祀られていて（神魂神社案内看板にも伊弉冉大神と先頭に書かれています。）、後で伊弉諾尊を合祀されたのかなぁ～と思う一方、いやいやもとは母神様の大日霊女貴尊を祀られたのでは・・・？とも思っています。

神社案内看板

根拠のない私見ではありますが、天穂日命が日向の懐かしい母大日霊女貴尊を祀られたという方が、物語的にも自然とも思うし十分有り得ることです。

前回の稿も熊野大社のところで、出雲大社の「火継ぎ神事」についてお話ししましたが、以前は神火の鑽りだしは、神魂神社で行われていたとのことです。

私は、今回の訪問までは、「火継ぎ神事」は現在でも神魂神社で行われていると思っていたのですが、間違いでした。

続いて八重垣（やえがき）神社についてお話させてもらいます。

八重垣神社鳥居

この神社は、素戔嗚尊の大蛇退治にゆかりある神社で、尊が大蛇退治の際に稲田姫（いなだひめ）（後に尊の妃となられた方で、櫛稲田姫（くしいなだひめ）とも申されます。）をお隠しになったといわれている佐久佐女（さくさめ）の森（神社境内の奥の院）の場所にあります。

現在の松江市佐草町です。

神話での大蛇退治は、八頭八尾の大蛇を退治したという話になっていますが、実は出雲の豪族八俣遠呂智（やまたのおろち）と戦った木次事件の話でして、このとき遠呂智が自分のものにしようとした美女稲田姫を、この佐久佐女の森の大杉の周囲に八重垣を作ってお隠しになった。（すでに拉致されていた姫を遠呂智の館に攻め込んで救出したあと、奪い返されないように保護されたという話もあります。）

そして戦いに勝利したあと、姫を娶られ、この地に宮づくりをされて夫婦で住まわれた。これが八重垣神社の始まりということになっています。

現在、出雲大社（明治時代になる前は杵築大社（きづきたいしゃ）と呼ばれていました。）は縁結びの神様としてあまりにも有名ですが、もともとはこの八重垣神社が縁結びの神様の本家本元ということになっています。

八重垣神社は平地にあり、規模は出雲大社には及ばないものの、大変立派なお社でした。素戔嗚尊をお祀りする神社なのですが、神魂神社同様に千木が内そぎで女神様をお祀りする特徴を示しています。理由は残念ながらわかりません。

和歌の歌碑

木次事件で匿われた稲田姫も祀られているので、あながちおかしいこともないのですが・・・。

素戔嗚尊がお詠みになったと伝わる、我が国最古の和歌といわれております、

「八雲立つ　出雲八重垣　妻込めに　八重垣造る　その八重垣を」

と彫り込まれた歌碑も、この神社境内にありました。

男性のシンボル

また、この神社には、立派な「男性のシンボル」が祀られていてびっくりしましたが、子宝に恵まれるようにという願いを込めたものと言われていますから、こういったことからも、縁結びの神様として祀られているのかもしれませんね。

境内に祀られた神様としては、天照大神、足名椎命（あしなづち）・手名椎命（てなづち）（このお二人は稲田姫のご両親）のほか、そうそうたる神々が多く祀られていて、さすが、古代出雲の創始者、素戔嗚尊ご夫婦のお宮という感じがしました。

平成29年9月発行の本会報第121号で紹介しました、9世紀の終わり平安時代の作と伝わる素戔嗚尊、稲田姫、大日霊女貴尊（現在の天照大御神）、市杵嶋姫（宗像大社や厳島神社の御祭神）そして足名椎命・手名椎命の彩色壁画は、この八重垣神社の本殿内に残されていたもので、現在は、神社宝物殿に国の重要文化財として保管、展示されています。

八重垣神社全景

神社はやはり大社造りで、神座は出雲大社と同じ配置となっています。

ここで「大社造り」について、少し触れさせていただきます。

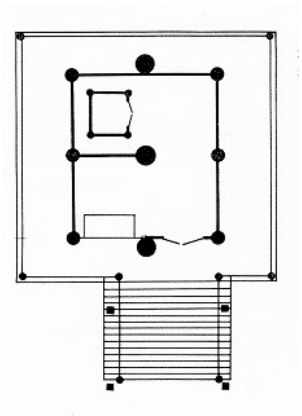
古代神社建築様式の神殿の作り方の一つでありまして、特徴としては、屋根が頂部の棟から、両側に流れ、山形が見える方に出入り口がある「妻入り」で、古代の日本の住居がもととなっているといわれています。

大社造り

また、大社造りの本殿の開口部（出入口）と階（きざはし）は、正面の右側に片寄って設置されているのももう一つの特徴であります。

右の図は、大社造り本殿の配置を示すものですが、

中央の●は、心御柱（しんのみはしら）とよばれ、この奥が神座（図中のコの字形）となっています。この図は、神魂神社の場合でして、神座の位置と向きは神社によってまちまちです。出雲大社の場合は、（八重垣神社もおなじですが）右奥で反対向きの配置となっています。


本殿配置図

図の上下の大きい●二本は宇豆柱（うずばしら）といって心御柱とともに棟を支える柱、そして後の6本は神殿を形作る側柱（がわばしら）といいます。

ちなみに、もう一つ古代神社建築様式には、「神明造り」と呼ばれるものがありますが、それは古代高床式穀物倉庫から発展したといわれ、三重県の伊勢神宮がその代表格で日向系の神様を祀った神社は、この形が多いようです。

屋根はやはり切妻ですが、「平入り」といって出入り口が屋根の流れた方（屋根が水平に見える側）の中央にあり、上から見ると長方形の形になっているのが特徴です。

神明造り

【訂正とお詫び】

前回、宇迦御魂は、新潟の弥彦神社に祀られていると書きましたが（会報第125号、26ページ）、新潟弥彦神社に祀られているのは天香山尊（あめのかやまのみこと）です。訂正とお詫びをいたします。

「大社造り」、「神座」、「神明造り」のイラストと記事の一部はインターネットのグーグル画像検索などから引用させていただきました。

Ⅴ　連 絡 事 項

☆ 会員名簿の変更

現在発行している会員名簿の変更です。（平成31年４月25日届出分まで）

○　指定代表者等の変更

頁	会　社・団　体　名	指定代表者職氏名	担当者職氏名
1	青森県漁業協同組合連合会	代表理事会長 三津谷　廣　明	指導課主任 櫻　田　栄　喜
〃	齋勝建設㈱	代表取締役 齋　藤　彰　浩	車輌課長 齋　藤　聖　英
〃	ジャパンオイルネットワーク㈱	青森油槽所所長 助　田　守　弘	青森油槽所所長代理 澤　口　　敏
〃	秋田曳船㈱	代表取締役社長 西　宮　公　平	業務課長 湊　屋　太　門
〃	秋田海陸運送㈱	代表取締役社長 西　宮　公　平	総務課課長代理 石　川　美由紀
〃	秋田県漁業協同組合	代表理事組合長 加賀谷　　弘	企画指導課課長 村　田　将　俊
〃	秋田製錬㈱	代表取締役社長 富　樫　林太郎	生産管理部部長 芝　地　　豊
2	秋田石油備蓄㈱	男鹿事業所所長 柄　沢　伸　二	男鹿事業所副所長 荻　原　利　哉
〃	㈱清水組	代表取締役社長 清　水　隆　成	専務取締役 清　水　明　彦
3	宇部三菱セメント㈱	常務執行役員 東北支店長 菅　原　　祥	東北支店 物流・施設グループ部長 小　川　達　夫
〃	酒田海陸運送㈱	代表取締役社長 平　岡　清　康	取締役営業部長 佐　藤　　祐
4	山形県漁業協同組合	代表理事会長 本　間　昭　志	指導専門員 小笠原　　健
〃	旭カーボン㈱	代表取締役社長 石　井　龍太郎	営業・調達部購買課長 菅　原　行　秀
〃	㈱植木組	執行役員新潟支店長 植　木　　豊	柏崎支店 港湾工事事務所所長 小　林　裕　孝
〃	ＥＮＥＯＳグローブガスターミナル㈱	新潟ガスターミナル所長 阿　部　良　之	新潟ガスターミナル 五十嵐　紀　子
〃	海洋運輸㈱	代表取締役社長 稲　政　顕　次	管理部部長代理 山　口　　薫

頁	会　社・団　体　名	指定代表者職氏名	担当者職氏名
5	佐渡汽船㈱	取締役 真　保　髙　弘	総務課長 田　中　伸　司
〃	昭和シェル石油㈱	新潟石油製品輸入基地 所　長 中　西　一　則	新潟石油製品輸入基地 操油課長 長谷川　一　明
〃	全農グリーンリソース㈱	新潟支店支店長 柿　村　一　夫	新潟支店副支店長 小　松　静　史
6	㈱ＪＥＲＡ（旧社名　中部電力㈱）	上越火力発電所所長 熊　澤　稔　雄	上越火力発電所 技術課長 逢　坂　広　文
〃	東亜建設工業㈱	北陸支店支店長 日　野　雅　博	北陸支店安全環境部長 八　川　勝　志
〃	東西オイルターミナル㈱	東新潟油槽所長 小　柳　一　義	東新潟油槽所所長代理 大　泉　　誠
〃	東北電力㈱	東新潟火力発電所 所　長 佐　藤　裕　市	東新潟火力発電所 総務課長 石　塚　　智
〃	東和造船㈱	代表取締役 五十嵐　由　之	副社長 横　山　達　夫
〃	直江津港船舶代理店会	会　長 山　﨑　雅　敏	直江津海陸運送㈱ 営業部部長 吉　田　陽一朗
8	姫川港利用者協議会	会　長 新　村　哲　也	事務局長 原　　豊
〃	富士運輸㈱	専務取締役 小　畑　　修	船舶代理店部課長代理 佐　藤　敬　昭
9	㈱和田商会	取締役社長 和　田　晋　弥	石油営業部部長 阿　部　隆　介
〃	太平洋セメント㈱	関東支店長 森　　秀　樹	関東支店セメント営業部 市　川　純　也
〃	石巻漁業㈱	代表取締役社長 若　狭　信　行	常務取締役 太　田　　昇
〃	㈱ＭＯＬマリン	代表取締役社長 稲　岡　俊　一	海洋技術事業部 操船シミュレーター部長 仙　田　晶　一
〃	川崎汽船	代表取締役社長 明　珍　幸　一	安全運航グループ 安全運航チーム長 遠　藤　英　明
〃	㈱商船三井	常務執行役員 加　藤　雅　徳	海上安全部長 谷　本　光　央
〃	デンカ㈱	常務執行役員 青海工場長 新　村　哲　也	青海工場総務部長 倉　又　孝　雄

頁	会　社・団　体　名	指定代表者職氏名	担当者職氏名
10	高岡水曜会	東亞合成㈱ 執行役員高岡工場長 木　村　正　弘	東亞合成㈱高岡工場 事務課課長代理 矢　地　清　孝
〃	竹中産業㈱	富山港油槽所長 藤　田　　守	富山港油槽所副所長 中　田　浩　司
〃	富山港振興協議会	会　長 森　　雅　志	技　師 水　和　　奏
〃	日本海石油㈱	取締役社長 細　谷　義　博	土　肥　美佐子
〃	伏木港海運振興会	会　長(高岡市長) 髙　橋　正　樹	みなと振興課長 中　出　裕　嗣
11	北陸海事㈱	取締役社長 川　西　邦　夫	二　口　　聡
〃	北陸電力㈱	富山新港火力発電所 所　長 谷　川　清　正	富山新港火力発電所 業務課 久　郷　克　彦
〃	金沢港北地区特別防災区域協議会	会長（東西オイルターミナル㈱金沢油槽所所長） 伊　川　広　宣	共同防災センター 川　窪　光　秀
12	越前町漁業協同組合	代表理事組合長 小　林　利　幸	専　務 小　倉　孝　義
〃	㈱そともめぐり	代表取締役社長 溝　口　裕　之	運航管理者 上　山　健　治
13	中浦水産振興会	会　長 川　端　元　昭	土　田　　和
〃	福井港石油基地管理委員会	代表幹事(ジャパンオイルネットワーク㈱福井油槽所所長) 能　勢　浩　之	
〃	福井石油備蓄㈱	取締役福井事業所長 増　川　浩　章	福井事業所副所長 木　村　　敦
14	ジャパンマリンユナイテッド㈱	常務執行役員 商船事業本部 舞鶴事業所長 荒　木　紀　夫	商船事業本部 舞鶴事業所 管理部 総務人事グループ 総務チーム長 竹　田　司　朗
〃	丹後海陸交通㈱	代表取締役社長 小　倉　信　彦	総務部総務課長 藤　原　伸　二
15	但馬漁業協同組合	代表理事組合長 村　瀬　晴　好	参　事 上　垣　健　治
16	境港海陸運送㈱	代表取締役社長 西　村　　誠	海運事業部次長 兼 船舶代理店課長 眞　木　　崇
〃	田後漁業協同組合	代表理事組合長 田　渕　幸　一	参　与 早　瀬　　譲
〃	日本興運㈱	鳥取支店支店長 長　野　達　夫	山　本　尚　平

頁	会　社・団　体　名	指定代表者職氏名	担当者職氏名
17	島根県海事振興協会	会　長 福　島　伸　光	昌　子　正　明
〃	島根県港湾漁港建設協会	会　長 金　津　任　紀	事務局長 力　石　三　男
〃	浜田港振興会	会　長 久保田　章　市	事務局次長 官　澤　真　雄
〃	中国電力㈱	代表取締役 社長執行役員 清　水　希　茂	電源事業本部 燃料計画グループ副長 槙　野　観　一

○　代表者等の変更

頁	会　社・団　体　名	代表者職氏名	担当者職氏名
19	ＥＮＥＯＳグローブガスターミナル㈱ 青森ガスターミナル	所　長 金　谷　剛　樹	所長代理 松　浦　広　幸
〃	日本通運㈱青森支店	支店長 倉　内　秀　晴	青森中央事業所課長 相　馬　公　人
20	ＥＮＥＯＳグローブガスターミナル㈱ 七尾ガスターミナル	所　長 畑　　武　義	所長代理 慶　田　　勉
〃	太平洋セメント㈱中部北陸支店	支店長 別　府　通　智	北陸セメント営業部 川　畑　健太郎
〃	東洋建設㈱北陸支店	執行役員支店長 伊　藤　史　朗	工事部長 恩　田　　勝
〃	北陸電力㈱七尾大田火力発電所	所　長 近　谷　正　信	担　当 高　宮　裕　明
〃	日本通運㈱舞鶴支店	支店長 安　達　久　和	舞鶴海運支店長 北　村　貴　弘
〃	中国電力㈱島根原子力発電所	所　長 山　本　直　樹	総務課長 飯　塚　光　久
〃	中国電力㈱三隅発電所	所　長 上　田　和　彦	技術管理課副長 武　田　隆　雄
〃	㈱不動テトラ中国支店島根営業所	営業所長 北　崎　俊　之	

○　会社・団体名等の変更

頁	(旧)　会　社・団　体　名	(新)　会　社・団　体　名
6	中部電力㈱	㈱ＪＥＲＡ
20	㈱不動テトラ島根根営業所	㈱不動テトラ中国支店島根営業所

○ 住所等の変更

頁	会 社 ・ 団 体 名	住 所
4	㈱植木組	〒945-8540 柏崎市駅前１丁目５番45号
8	北部日本海まき網漁業協議会	〒104-0055 東京都中央区豊海町４番５号 大洋エーアンドエフ㈱内
10	高岡水曜会	〒933-0195 高岡市伏木２丁目１－３ 東亜合成㈱高岡工場内
16	境水先区水先人会	〒684-0033 境港市上道町2184番地１
17	島根県海事振興協会	〒690-0877 松江市春日町472－５ 昌子海事代理士事務所内

○ 電話及びＦＡＸ番号の変更

頁	会 社 ・ 団 体 名	電 話	ＦＡＸ
8	北部日本海まき網漁業協議会	03-6220-1263	03-6220-1463
9	デンカ㈱	03-5290-5055 青海工場 025-562-6105	03-5290-5059 青海工場 025-562-6104
10	高岡水曜会	0766-44-7401	0766-44-7410
〃	富山港振興協議会	076-443-2091	076-443-2187
16	境水先区水先人会	0859-30-2124	0859-30-2128
17	島根県海事振興協会	0852-23-0915	0852-23-0915

「見張りよし　船の位置よし　進路よし」

「手を抜くな　見張りは船の命綱」

会　　報　　第１２６号

令和元年５月発行

発 行 所　新潟市中央区竜が島１丁目９番２号
公益社団法人　日本海海難防止協会
〒950－0072
電　話（025）247－8531
ＦＡＸ（025）247－0316
E-mail nikkaikb@poem.ocn.ne.jp
URL　http://nikkaikb.com/
印 刷 所　株式会社 ウィザップ